



# 会津大学大学院コンピュータ理工学研究科 イノベティブ教育クラスター (ARC-Education)

## クラスターメンバと連携機関



NTT  
ギブリー  
フォーカスシステムズ  
リバナス  
会津若松市教育委員会 (交渉中)  
株式会社トッパン (交渉中)  
日本テクニカルコミュニケーター協会

カールスルーエ応用科学大学 (ドイツ)  
西マケドニア共和国大学 (ギリシャ)  
モンテレイ大学 (メキシコ)  
クライスト大学 (インド)  
イスタンブール大学 (トルコ)  
アフリカ科学技術大学 (ナイジェリア)  
カイロ大学 (エジプト)

東北大学  
筑波大学  
九州大学  
福島県立医科大学

## 背景

SDGs-4 「質の高い教育」のグローバル目標を達成するためには、AIが教育技術において極めて重要な役割を果たすと言われています。我々は会津大学のビジョンに従って、AIとデータサイエンスの進歩を応用し、個別最適化学習の実現とSDGs-4 「質の高い教育」の目標達成を支援する革新的な教育研究クラスターを設立しました。



## 研究ビジョン

### パーソナライズド・ラーニング

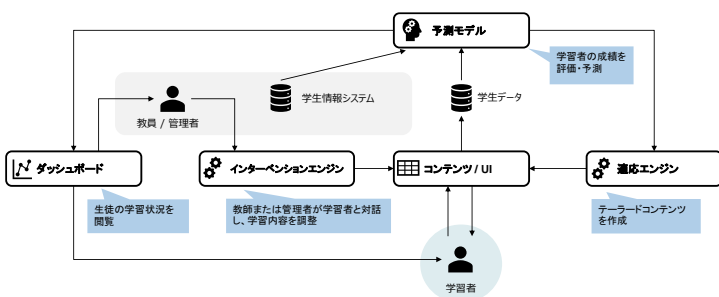
### 研究基盤とエコシステム



## 研究テーマ

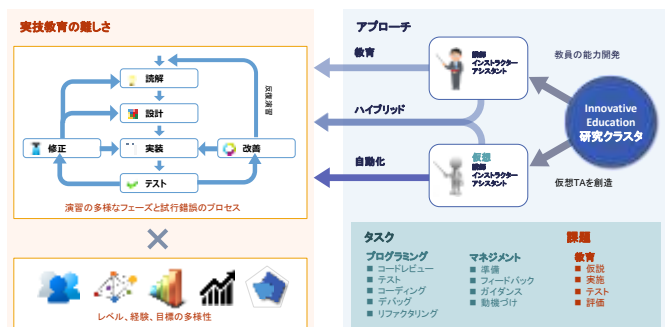
### 適応型学習フレームワーク

### 学習スタイルインデックス



### 仮想ティーチングアシスタント

### 臨床教育心理学とラーニングアナリティクス



地域の学校に対する教育支援  
特にプログラミング教育を推進

日本の小中学校でプログラミングが必修科目になったのは、ここ数年のことです。

これは、日本の約35,000校の小中学校に在籍する約1,300万人の生徒の教育のデジタル化を目指す政府の大きな取り組みの一環であり、2022年には高等学校でも必修化されました。

